Van Volxem
ファン・フォルクセン

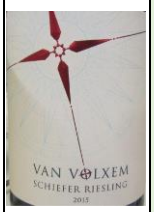
18世紀のイエズス会修道院の所領を、フランス革命後にトリーアの実業家グスタフ・ファン・フォルクセンが購入し、1900年頃には世界的な名声を誇っていた醸造所。しかし20世紀末に経営破綻し、1999年末に現オーナーのローマン・ニエヴォドニツァンスキーが購入。膨大な設備投資と徹底した品質管理で、醸造所だけでなくモーゼルのリースリング全体の名声復活に大きく貢献した。購入当初13haだった葡萄畑は現在42ha。品種は96%がリースリング、4%がヴァイスブルグンダー。優れたワインを産する葡萄畑の遺伝的素質を守るために、房が小振りで粒が小さく、自然に収量が低くなる苗木を畑から選抜して植樹している。古木を重視し、辛抱強く完熟を待ち、地域で一番最後に収穫を終える。徹底した選果を行い、醸造所で粒選りして完璧を期している。収量は30～40h ℓ /ha。醸造には少量の亜硫酸以外の添加物を一切用いず、ステンレスタンクとアイフェル山地に自家所有する約5000haの森から切り出した木材で造った容量120～2400 ℓ の木樽を使い、野生酵母で発酵する。主力は辛口からオフドライのリースリングで、瓶詰め直後は繊細だが2～3年熟成すると見違えるほどの複雑さと奥行きを現す。近年醸造施設を新築し、ザールのオックフェン村で、忘れられた銘醸畑4ha（オックフェナー・ガイスベルク）の再興に友人と共に取り組んでいる。

2017	4月20日頃の遅霜でモーゼルの収穫量は約25%減少。夏の好天で成熟がすすみ、記録的に早い収穫開始。
2016	9月に雨が多く早い時期の収穫となったが、ブドウは成熟し品質は非常に良好だか、収量は少量である。
2015	収量は多くはないが、しっかりと果実が熟した。

○Riesling VV
リースリング ファン・フォルクセン

畑	品種：リースリング 100% 植樹：不明 土壌：デボン紀由来のスレート	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 ステンレスタンクで6-7ヶ月間熟成

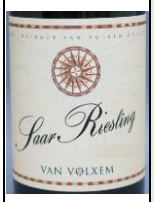
備考：辛口のSchiefer Rieslingのオフドライバージョン。
遅積みのブドウを使用。
アジア料理、グリルした魚、甲殻類,そして白い肉とのペアリングがオススメ。アペリティフとしてもよい。
キュヴェ名のVVはVan Volxemの意味。



○Schiefer Riesling
シーファーリースリング

畑	品種：リースリング 100% 植樹：30年未満 位置：南向き 土壌：デヴォン紀のスレート粘板岩主値の土壌、一部に流紋岩と硬砂岩が混じる	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 ステンレスタンクで6-7ヶ月間熟成

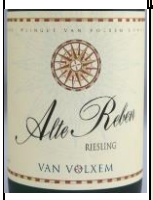
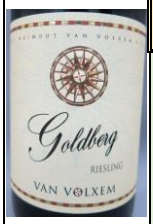
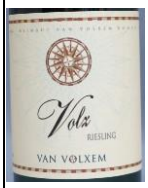
備考：この溌剌としたリースリングを味わうたびに、人はささやかな喜びに満たされる。その魔法のようなミネラルのエキスはザールの美徳そのものだ。早めに飲み頃を迎える。樹齢30年以下のやや若いブドウ樹からのワインで、スレート粘板岩の輝くようなミネラル感をくっきりと表現しつつ、心地よい熟した酸味とひとつになっている。中庸なアルコール濃度と魅惑的な果実味、それにいつまでも飲み続けたくなるような素晴らしい飲み心地が笑顔を誘う。ある限り全てのフィネスとともに、シーファー・リースリングはミネラル的な風味と一緒にマルメロ、ミラベル、レネクロード（西洋スモモの一緒）のアロマが口いっぱいに広がって、舌触りは熟成したソーヴィニョン・ブランを思わせる。夏のさっぱりとした料理に素晴らしくよくあう。正統派でミネラル豊富、生彩に満ち、精緻な輝きを備えた、ザールの基準となるリースリングである。

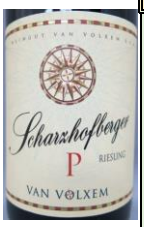
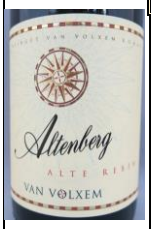


○Saar Riesling
ザール リースリング

畑	品種：リースリング 100% 植樹：30年以上 位置：南向き 土壌：赤色及び青色粘板岩土壌	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 ステンレスタンクで6-7ヶ月間熟成

備考：空気圧プレスにより優しく圧搾

	○Rotschiefer Riesling Kabinett ロートシーファー リースリング カビネット				備考	モーゼルの中でもこの地域特有の、赤色粘板岩土壌から収穫されたブドウで作ったワインです。赤色粘板岩土壌由来のスパイシーな味わいが特徴です。やや残っている残糖により、心地よく飲めるワインです。
	畑	品種：リースリング100% 植樹：2000年頃 位置：南東向き 土壌：赤色粘板岩土壌	醸造			
	○Wiltinger Riesling 2017 （旧Wiltinger Braunfels Riesling） ヴィルティンガー リースリング				備考	2017年産から「ヴィルティンガー・リースリング」。ヴィルティンガー・ブラウンフェルスの畑の収穫は、区画「フォルス」をVDP.GGとして、それ以外を村名に由来する「ヴィルティンガー」として、2015年からリリースしている。ブラウンフェルスの畑名は粘板岩の色が褐色を帯びているのでその名がある（ブラウン＝茶色）。
	畑	品種：リースリング100% 樹齢：2000年頃 位置：南東向き 土壌：赤色及び青色粘板岩土壌	醸造			
	**○Alte Reben Riesling** アルテ レーベン リースリング				備考	
	畑	品種：リースリング100% 樹齢：約30-50年 位置：南東向き 土壌：赤色及び青色粘板岩土壌	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 ステンレスタンクで7-8ヶ月間熟成		
	**○Goldberg Riesling** ゴルトベルク リースリング				備考	
	畑	品種：リースリング 100% 植樹：1976年 位置：南西向き 土壌：赤色粘板岩土壌と流紋岩	醸造	大樽で10～11ヵ月熟成。野生酵母、長期熟成、伝統的醸造、清澄なし。		
	**○Volz Riesling** フォルツ リースリング				備考	"フォルツ”（Volz）は、19世紀の課税地図上で最も高いカテゴリーに分類されていた区画を指し、ウィルティンガー・ブラウンフェルスの一部。 グラン・クリュの中では最も気品のあるワインで、スレート粘板岩のヒントと桃、アプリコットや南国のフルーツのアロマがある
	畑	品種：リースリング 植樹：1935～1985年頃 位置：南～南南西向き斜面、斜度42～55%, 標高200～250m 土壌：石の多い、ごつごつとした青色スレート粘板岩に珪石と灰色硬砂岩が混じる	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 大樽で11ヶ月間熟成		
	○Scharzhofberger Riesling シャルツホーフベルガー リースリング				備考	シャルツホーフベルクのスレート粘板岩と、やや冷涼な畑の立地条件が明瞭に反映されている。 まるで塩分のようなミネラル感と、酸によるストラクチャーの存在感が、この畑の典型的な特徴。
	畑	品種：リースリング 植樹：1970年代頃 位置：南向き急斜面 土壌：青色スレート粘板岩に珪岩と灰色硬砂岩が混じる	醸造	ステンレスタンクで醗酵。野生酵母、 大樽で11ヶ月間熟成		

	**○Scharzhofberger Pergentsknopp Riesling** シャルツホーフベルガー ペルゲンツクノップ リースリング				備考	ミネラル感という点では小さなシャルツホーフベルガーのようだが、いっそう緻密なテクスチャーで、寿命も長い
	畑	品種：リースリング 植樹：1950年頃 位置：南南東～南南西向き斜面、斜度20～60%、標高216～300m 土壌：デヴォン紀の青色粘板岩に少量の赤色粘板岩、硬砂岩	醸造	ステンレスタンクで醗酵。野生酵母で発酵、大樽で11ヶ月間熟成		
	**○Altenberg Alte Reben Riesling** アルテンベルク　アルテ　レーベン　リースリング				備考	ファン・フォルクセンのワインの中で最も凝縮していて、スレート粘板岩の暖気と岩がちな土壌の特徴がはっきりと表れている。
	畑	品種：リースリング100% 樹齢：1920年頃 位置：南東向きの極めて急峻な斜面 土壌：大変痩せて石の多い灰色スレート粘板岩土壌、一部火山性の岩石が混じる	醸造	ステンレスタンクで醗酵。 大樽で11ヶ月間熟成		
画像なし	**○Wiltinger Gottesfuss Alte Reben Riesling** ヴィルティンガー・ゴッテスフース アルテ・レーベン・リースリング				備考	カのみなぎるようなワイン。濃厚さ、凝縮感、余韻、絹のようななめらかさ。高貴な舌触り、ストラクチュア、口中の感触。爆発的に広がる果実味、バラの様な香り。
	畑	品種：リースリング100% 樹齢：120年、植樹密度11000本/ha。 位置：南～南西向きの極めて急峻な斜面。斜度50～90%, 標高160～260m. 土壌：灰色粘板岩に風化した赤色粘板岩と硬砂岩Grauwackeが混じる。土壌が赤味を帯びているのは鉄分に由来。	醸造	大樽で11ヵ月熟成。野生酵母、長期熟成、伝統的醸造、清澄なし。		
画像なし	**○Sekt 1900 Brut Riesling** ゼクト 1900 ブリュット リースリング				備考	1900年頃、ザールはスパークリングワインの醸造で繁栄し、ヨーロッパ各地のレストランやホテルで賞味され、賞賛された。今もザール川沿いにある醸造所の豪奢なたたずまいが、当時の繁栄ぶりを物語っている。
	畑	ザールの支流の渓谷にある冷涼な葡萄畑の収穫。 水はけの良い粘板岩土壌。 一部の葡萄樹は自根の古木（1900年頃植樹）	醸造	木樽で一次発酵後、伝統的瓶内二次発酵。 最長5年間の瓶内熟成。		
画像なし	**○Herrenberger Riesling Spätlese** ヘレンベルガー リースリング シュペートレーゼ				備考	
	畑	品種：リースリング 100% 植樹：1999年 位置：南向き 土壌：黒色スレート粘板岩土壌	醸造			
	○Scharzhofberger Riesling Beerenauslese シャルツホーフベルガー リースリング ベーレンアウスレーゼ				備考	
	畑	品種：リースリング 100% 植樹：1969年 位置：南向き 土壌：細かく風化したデヴォン紀の青色粘板岩土壌	醸造	野生酵母、長期間の熟成		